

Traditional *Kōgei* in Everyday life



ウォールナット大テーブル「八橋-Zigzag Bridge」 須田賢司

暮らしの中の伝統工芸

2017年12月16日|土| - 2018年1月23日|火| MOA美術館

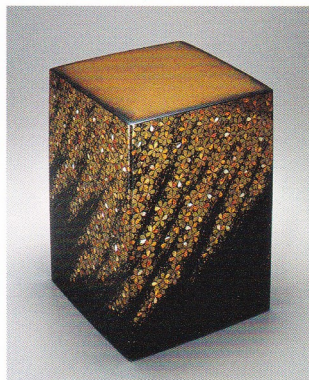
開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時迄)

休館日：木曜日、2018年1月5日、9日～12日

観覧料：一般1,600(1,300)円/ 高大生1,000(700)円・要学生証/ 中学生以下無料/ 65才以上1,400円・要身分証明

※()内は10名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添い者(1名のみ)半額 ※前売り券は、お近くのコンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス)、チケットぴあ、イープラスでもお求めいただけます。

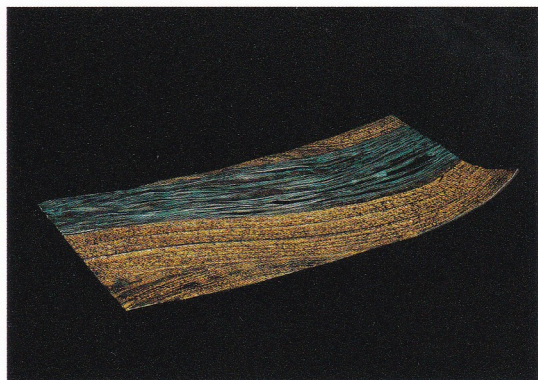
MOA美術館 熱海市桃山町26-2 TEL: 0557-84-2511 <http://www.moaart.or.jp>



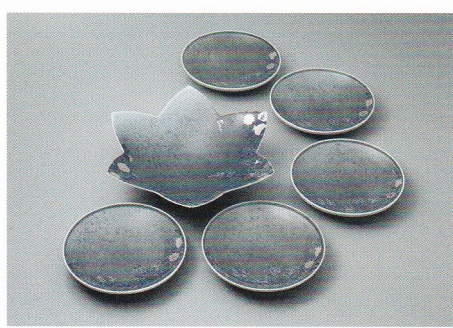
蒔絵飾箱「春風」 室瀬和美 (漆芸)



白瓷面取珈琲碗 前田昭博 (陶磁)



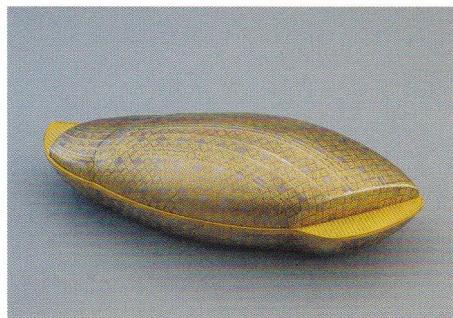
蛭型白銅金彩盛器「流-II」 北村真一 (金工)



色絵薄墨墨はじき四季花文器揃 14代 今泉今右衛門 (陶磁)



呑 白幡 明 (ガラス)



金彩銀器 前田宏智 (金工)

豊かな日本の文化を背景に、高度な技術を惜しみなく注がれて発展してきた伝統工芸は、本来日々の生活をより豊かに彩るためのものであり、同時に心を慰め、時には高揚させる、鑑賞の対象でもありました。こうした工芸の本質と魅力を再確認するため、本年と2019年の2回に渡って、現代の生活に起伏を与える視点から、食器、酒器、茶道具など、暮らしの中をテーマとして、多彩な素材や技法による伝統工芸の展覧を企画いたしました。

今回は、重要無形文化財保持者をはじめとする伝統工芸作家で組織される公益社団法人日本工芸会に所属する作家約40名による「用と美」を備えた伝統工芸を展覧します。次回、「暮らしの中の伝統工芸2(仮)」(2019年)では、現代デザインの最前線で活躍するプロダクトデザイナーの山中俊治氏、〈ARTS & SCIENCE〉クリエイティブディレクターのソニア パーク氏が登場される予定です。今回の展覧では、両者が当館コレクションの中から見出した、構想中の新作にインスピレーションを与える古美術もご紹介します。

伝統工芸を現代の生活へ採り入れることを提案する本展によって、わが国の伝統への敬意と、時代の先を捉える清新な感性の新しい窓を開くことができれば幸いです。

キュレーション / 橋本麻里、永田智世、内田篤晃

暮らしの中の伝統工芸

Traditional *Kōgei* in Everyday life

ワークショップ

1. 「書き初め」に備えて、オリジナルの硯作り

日時：2017年12月23日(土) 13:30~15:30

講師：雨宮弥太郎氏(硯作家)

参加費：1,500円

定員：20名(要予約)

2. そば猪口をカラフルにデザイン

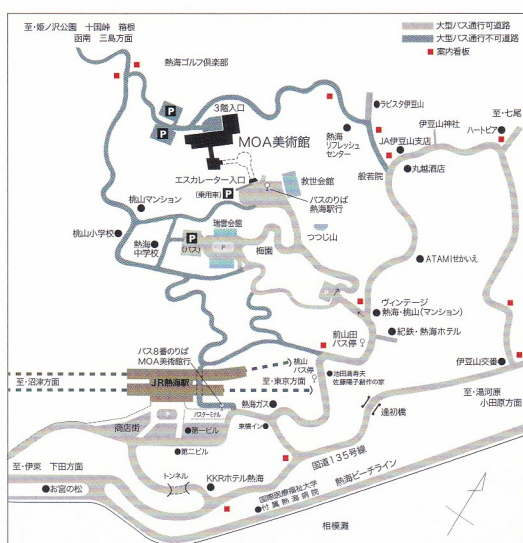
日時：2018年1月13日(土) 13:30~15:30

講師：前田正博氏(陶芸家)

参加費：1,500円

定員：30名(要予約)

申込先：0557-84-2531 (学芸課)



交通

◎JR線をご利用の場合：JR熱海駅下車→バスターミナル8番乗り場よりMOA美術館行きバスをご利用ください。(所要時間約7分)

◎お車で越しの場合：東京方面からは、西湘バイパス、又は小田原厚木道路より真鶴道路を通り、お越しください。静岡方面からは東名沼津インター、又は新東名長泉沼津インターより伊豆縦貫自動車道→熱海道路を通り、お越しください。

MOA美術館
MOA MUSEUM OF ART

〒413-8511 静岡県熱海市桃山町26-2
tel: 0557-84-2511
<http://www.moaart.or.jp>